



答弁中の中嶋町長

高齢者の増加による認知症対策は

見守りネットふくおかを活用

問

急速な高齢化社会の到来により、人口に占める高齢者の割合は著しく高まってきています。

人は美しく健康に老いたいと願うものですが、老齢になるほど身体の障害が生じ、入院・通院などの生活を余儀なくされます。

認知症の高齢者を抱えているご家族の悩みは深刻なもの

があり、多大な犠牲を強いられています。

認知症の高齢者および認知症疾患の相談窓口の設置、家庭看護の方法の周知、認知症の高齢者に関する老人保健事業の充実、長期・短期入所の施設の設置等について考えをお聞かせください。

答 中嶋町長

高齢化社会の到来と共に、認知症の高齢者の数は増加傾向にあります。

85歳以上では4人に1人の割合で症状があると言われています。

本町では、85歳以上の方が約750人おられますので、約190人の方にそのような症状が出てもおかしくない状況です。



田原 重美 議員

各種相談は、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターで受け付けています。家庭看護については、介護予防訪問看護事業を、民間のあすなろ訪問看護ステーション（水戸病院）において、実施しています。

また、医師会と協議を行い、介護が必要な高齢者の自宅での生活を支える「24時間地域巡回型サービス」を推進していきたくと考えています。

雇用窓口の一本化は

求人募集紹介サイトを企画（商工会）

問

以前、雇用対策について一般質問をした際に、今後は町で一本化した窓口を設け、しっかりとした係を置いて町民の方々に広報・PRが十分できるような形で対応していきたいとのことでしたが、その後いかがでしょうか。

今の現状と今後の取り組みについて考えをお聞かせください。

答 中嶋町長

福岡県の雇用対策事業推進に対するサポートとして、地域振興課に窓口を置いて、兼任の職員で対応しています。

ハローワーク福岡中央の週1回の須恵町求人情報・情報誌ワークライト・民間情報誌パコライフ等の資料によりPRを行っており、電話・窓口での相談にはハローワーク等を紹介しています。



百田 輝子 議員

須恵町・須恵町商工会・須恵町企業クラブの三者で取り組む、会員求人等の相互連携システムの構築については、会員相互の温度差等があり、思うように進んでいない状況です。

現在、商工会から、求人募集紹介サイトという新しい企画が提案されています。



須恵町商工会

商工会会員を対象とするアンケートとセミナーを実施して、この事業に対する会員の意向等を絞り、会員の意向を踏まえた各企業の情報や求人情報の発信を進めていくものです。町として、予算面も含め、協力していきたいと思っています。